

工事写真集の変更について (令和4年度～)

【注意事項】

- ◇写真は、黒板の文字や作業中の状況が分かるように鮮明に撮影してください。
黒板やスケール等が見切れないようにし、全景が1枚で収まらない場合は、2枚以上に分けて撮影してください。
また、黒板には設置場所(〇〇邸)を必ず記入してください。
- ◇工事関係者が写真に写る場合は、必ずヘルメットを着用してください。
- ◇検測を伴う写真は、必ず黒板に実測値を記入してください。
- ◇掘削は、土砂が崩壊しないよう関係法令等に従い、山留を行うかまたは、適切な法をつけてください。
- ◇写真(3-1)【碎石・栗 基礎工】は、栗石投入後の目潰し材投入状況の写真を撮影してください。基礎厚150mm以上の検測写真は、写真(3-2)【碎石・栗 基礎工】で機械転圧後の基礎厚を撮影してください。
- ◇最終放流先の写真は、既設柵・既設管使用の有無に関わらず、全ての場合において必要になります。
写真(10-5)最終放流先の写真を添付する場合は、放流口がわかるように撮影してください。

【新規箇所】

- 写真(10-5)【排水設備】
※放流先(放流管の設置状況及び放流口)が分かる写真
- 写真(14)【放流ポンプ槽】
※ポンプ2台の設置が確認できること

【変更箇所】(太字が変更箇所)

- 写真(2)【掘削完了】
{変更前} ※幅、長さ、深さが確認できること
{変更後} ※幅、長さ、深さがスタッフ等で確認できること
※検測が写真1枚で確認できない場合は2枚に分けること
(2枚目は写真(15)【その他】へ添付可)

○写真（3－2）【砕石・栗 基礎工】

{変更前} ※基礎厚150mm以上が確認できること

※目潰し材投入後機械転圧が確認できること

{変更後} ※目潰し材投入後に転圧機を使用し、機械転圧している状況が確認できること

※機械転圧後の基礎厚150mm以上がスケール等で確認できること

○写真（4）【配筋工】

{変更前} ※ピッチと長さが確認できること

{変更後} ※ピッチと長さがスケール等で確認できること

○写真（5）【コンクリート基礎工】

{変更前} ※全景及び基礎厚100mm・150mmが確認できること

{変更後} ※全景及び基礎厚100mm・150mmがスケール等で確認できること

○写真（8－1）【上部スラブ配筋工】

{変更前} ※ピッチと長さが確認できること

{変更後} ※ピッチと長さがスケール等で確認できること

○写真（8－2）【上部スラブコンクリート工】

{変更前} ※全景及びスラブ厚100mm・150mmが確認できること

{変更後} ※全景及びスラブ厚100mm・150mmがスケール等で確認できること

○写真（9）【嵩上げ状況】

{変更前} ※嵩上げ高が確認できること

{変更後} ※嵩上げ高がスケール等で確認できること

○写真（10－3）【排水設備】

{変更前} ※配管及び桧据付状況

※全景が確認できること

{変更後} ※埋め戻し後の配管及び桧設置の全景が確認できること

※全景が写真1枚で確認できない場合は2枚以上に分けること

（2枚目以降は写真（15）【その他】へ添付可）

○写真（10－4）【排水設備】

{変更前} ※既設の排水設備を使い放流する場合、以下の2つの写真

{変更後} ※既設の排水設備を使い放流する場合、~~以下の2つの写真~~

○写真（1 1）【ブローラー設置状況】

{変更前} ※接地工事（アース）が必要な場合は、確認できること

{変更後} ※接地工事（アース）が必要な場合は、確認できること

※ブローラー基礎100mm以上がスケール等で確認できること

○写真（1 2）【竣工】

{変更前} ※浄化槽設備士が入っていること

※浄化槽設置が確認できること

{変更後} ※浄化槽設備士が浄化槽工事業者登録票を持っているところ

※浄化槽設置が確認できること

○写真（1 3 - 2）【柱筋】

{変更前} ※フープ筋ピッチが確認できること

{変更後} ※フープ筋ピッチがスケール等で確認できること